※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	「政治・経済資料 2026」　（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治･経済の視点を重視しながら、現代社会について理解します。公共で学んだ内容を基礎として、さらに深く、政治や経済の仕組みを理解しながら、グローバル社会を向かえ、複雑化する世界について探究を進め、深い理解をめざします。自分が暮らす世界が、どのような仕組み・理論で動いているのかを深く理解し、主体性を発揮して自ら問いを考え、探究する力を養いましょう。

2　学習の到達目標

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治･経済に関する概念や理論などを活用して,現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の政治・経済分野における諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における政治・経済の基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の政治・経済分野の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第1編1章1民主政治と法	○政治とは何か。国家とは何か。法の意義と役割とは何か。近代民主政治は，どのようにして成立したのだろうか。 ・政治，国家，法のあり方について考える。	a:政治と国家，政府が何であるかを理解している。法の意義と役割のほか，法の分類についても理解している。 b:政治とはどのような営みか，自身の身近な事例にも言及しながら考察し，適切に表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解追究しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第1編1章2民主政治の基本原理	○社会契約説とは何か。法の支配とは何か。基本的人権の保障はどのように拡大していったのだろうか。 ・基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。	a:社会契約の考え方について理解している。また，ホッブズ，ロック，ルソーの考え方の共通点相違点を資料から読み取り，理解している。基本的人権の歴史的発展について理解している。法の支配や立憲主義について理解している。 b:基本的人権や法の支配の重要性について，歴史的背景にも言及しながら考察し，それらを適切に表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに，基本的人権や法の支配の重要性などについて主体的に理解追究しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第1編1章3民主政治のしくみと課題	○国民主権とは何か。議会制民主主義とは何か。権力分立と立憲主義はなぜ重要とされているのだろうか。 ・民主政治のしくみと課題を理解したうえで，権力分立と立憲主義の重要性を理解する。	a:民主政治のしくみと課題を理解している。 権力分立と立憲主義について，その重要性を理解している。 b:多数決の長所と短所について，自身の身近な事例にも言及しながら協働的に考察し，適切に表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治の課題について主体的に理解追究しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第１編１章４世界のおもな政治制度	○世界の国々が採用している議院内閣制と大統領制には，民主政治の諸原理がどのように反映されているのだろうか。 ・振り返りや，教科書の資料の読み取りを踏まえ，各政治制度の特徴を理解する。	a:議院内閣制大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について,民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。 各国の政治制度に関連する諸情報を信頼性の高い情報源から収集し,知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 b:各国の政治制度の共通点相違点について,立法府と行政府に着目しながら比較考察し，適切に表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに,現実の政治制度に関する課題について主体的に理解追究しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第１編２章１日本国憲法の成立 第１編２章２日本国憲法の基本原理	○日本国憲法はどのようにして制定されたのか。明治憲法とはどのような違いがあるのだろうか。日本国憲法の三大基本原理とは何か。憲法改正とは何か。 ・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ，明治憲法との違いを理解する。 ・日本国憲法の基本原理を理解したうえで，憲法の改正手続きについて考える。	a:日本国憲法の成立過程を理解している。二つの憲法の原理と相違点について,理解している。憲法改正とその限界について，理解している。諸外国の憲法に関連する諸情報を信頼性の高い情報源から収集し,知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 b:日本の憲法改正手続きについて，その運用上の課題について協働的に考察し，適切に表現している。 c:憲法の最高法規性や日本国憲法の原理,改正手続きなどについて主体的に理解追究しようとしている。 日本国憲法の三大基本原理が私たちの人権や政治に果たしている役割について関心を高め,主体的に追及しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第１編２章３自由に生きる権利(1) 第１編２章４自由に生きる権利(2) 第１編２章５平等に生きる権利 第１編２章６社会権と参政権・請求権	○自由権とは何か。日本国憲法が保障する基本的人権のうち，精神の自由にはどのような自由があるのだろうか。 ○自由権が制限されるのは，どのようなときか。自由権をめぐって問題とされているのはどのようなことだろうか。 ・自由権の内容について理解する。 ○法の下の平等とは何か。現代社会にはどのような差別があり，どのような対処がなされているのだろうか。 ・自由権の内容について理解する。 ○社会権にはどのような権利があり，どのように保障されているか。また，参政権，請求権とはどのような権利だろうか。 ・社会権の内容について理解する。	a:自由権平等権社会権などの諸権利の内容について,各種判例も踏まえながら理解している。冤罪や死刑制度,さまざまな差別，生存権の保障など,人権に関する現実社会の課題について理解している。自由権平等権社会権と関連する判例（教科書掲載外の判例）を信頼性の高い情報源から収集し,それぞれ適切に分類整理したうえで,知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 b:自由権，平等権，社会権について,各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し,適切に表現している。日本国憲法における人身の自由について,資料に基づいて考察し，適切に表現している。死刑制度の是非について，図などを利用して，協働的に考察し，適切に表現している。差別を解消すべき理由について，『公共』で学んだ「人間の尊厳」や「個人の尊重」といった視点に立ちながら，適切に表現している。社会権の保障(すべての人が人間らしい生活を送れるようにするために国がすべきことは何か，など）について，協働的に考察し，適切に表現している。 c:基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また,たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し,よりよい社会の実現を視野に,学習したことを社会の改善に生かそうとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第1編2章7新しい人権	○新しい人権は，どのような社会の変化のなかで求められてきたか。どのような権利が主張されているのだろうか。 ・新しい人権について理解する。 ○人権保障をめぐる課題にはどのようなものがあるだ	a:環境権知る権利プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。教科書の本文を通じて,情報化社会における人権について理解している。社会的権力による人権侵害の課題や人権の国際化の動き,公共の福祉について理解している。公共の福祉の具体的な事例を信	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第1編2章8人権の広がりと公共の福祉	ろか。人権と人権が衝突した場合，どのように調整すべきなのだろうか。 ・公共の福祉について理解する。	頼性の高い情報源から収集し，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 b:知る権利の内容理解を踏まえたうえで，「忘れられる権利の是非」について多面的に考察し，適切に表現している。現実社会の問題の解決と個人の権利との調整について，生徒みずからが調べて収集した具体的な事例にもとづきながら協働的に考察し，適切に表現している。在日外国人の権利について，教科書の時事コラムなどを踏まえたうえで協働的に考察し，適切に自分の考えを表現している。 c:新しい人権について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。公共の福祉について主体的に追究することを通して，個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。			
	第1編2章9平和主義と自衛隊 第1編2章10日米安全保障体制	○平和憲法のもと，どのようにして自衛隊は創設され，活動範囲をひろげてきたのか。その背景とは何だろうか。 ・日本の安全保障政策の展開について理解する。 ○日米安全保障体制の役割は，どのように変化しているのか。沖縄がかかえている課題とは何だろうか。 ○有事法制とは何か。徹底した平和主義をかかげる日本が，今後，世界で求められることは何だろうか。 ・こんにちの安全保障政策の課題について理解する。	a:日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景について理解している。資料を通じて，自衛権に関する政府解釈の変化を読み取ることができている。 1990 年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。教科書を利用して，集団的自衛権について多面的に理解している。日本の安全保障をめぐる現状と課題，自衛隊の海外活動の現状といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 b:防衛関係費と社会情勢との関係について，教科書を利用して，多面的に考察している。資料の内容理解を踏まえたうえで，「自衛のための必要最小限度の実力はどのように限界づけられるのか」といった議題について多面的に考察し，適切に表現している。沖縄の基地問題について，教科書のの時事コラムなどを利用して協働的に考察構想し，それらを適切に表現してい	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	の変化 第1編2章11 21世紀の平和主義		る。 c:集団的自衛権について関心が高まっており,集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしうるかについて主体的に検討しようとしている。我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して,学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	第1編3章1 政治機構と国会 第1編3章2 内閣と行政機能の拡大	○国会の地位・役割・構成・権限とはどのようなものか。国会・内閣・裁判所の関係はどのようになっているのだろうか。 ・国会の役割や権限について理解する。 ○内閣はどのような構成で，どのような権限をもっているか。行政の民主化に必要なことは何だろうか。 ・内閣の権限と議院内閣制について理解する。	a:国会の役割や権限，運営について理解している。資料の読み取りを通じて,衆議院の優越について理解することができている。内閣の権限や議院内閣制のしくみについて理解している。行政権の拡大と官僚政治の課題,その転換に向けたさまざまな改革について,資料などを参考にしながら理解している。行政改革の現状，日本各地のオンブズマンの活動状況といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し,知識の補強といった形で適切に扱うことができている。 b:教科書の本文理解を踏まえたうえで，「国会はなぜ国権の最高機関とされるのか」といった議題について考え，適切に表現している。資料を通じて，議員立法に関する情報を読み取り,その課題について多面的に考察している。 c:日本の政治機構について主体的に追究して,学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。行政権の拡大について関心を深めており,官僚政治と官邸主導のそれぞれの長所と短所について主体的に追求しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第1編3章3公正な裁判の保障	○司法権の独立はなぜ重要か。違憲審査権の意義は何か。司法制度改革で司法はどうかわったのだろうか。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。	a:司法権の独立や裁判のしくみ，各裁判所の役割について理解している。違憲審査権について理解している。裁判員制度や検察審査会の意義と役割について理解している。司法制度改革の現状と課題について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し，適切に表現している。 違憲審査権の行使について，２つの観点（消極的観点：裁判所は直接国民を代表する機関ではないので，代表者からなる国会の定めた法律の違憲審査には消極的であるべきである／積極的観点：多数決による政治で無視されがちな少数者の権利を救済できるのは裁判所以外にないのだから，違憲の法律による権利侵害に対しては積極的に違憲審査すべきである）を踏まえながら考え，適切に表現している。 c:司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第1編3章4地方自治と住民福祉	○地方自治の本旨とは何か。日本の地方自治はどのような財政上の課題をもち，国との関係はどうなっているのだろうか。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。 ・地方がかかえる課題について理解する。	a:地方自治の本旨である，団体自治と住民自治について理解している。地方自治の政治経済的な課題について理解している。住民自治に基づく住民の権利や住民投票など，住民の意思を反映させる手段について理解している。資料を通じて，地方公共団体の議会と長の選出について，読み取ることができている。教科書の時事コラムなどを通じて，地域社会の課題と取り組みについて，理解している。身近な地域の人口動向や防災面での課題について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。日本の一極集中の現状と課題を複数の資料から読み取ることができている。 b:資料を通じて地方財政の課題を考察し，適切に表現している。人口動向	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			が地域に及ぼす影響について多面的多角的に考察し，適切に表現している。東京圏への一極集中を解消するための取り組みについて，「東京圏」と「その他の道府県」といった観点に立ちながら多面的多角的に考察し，適切に表現している。 c:地方がかかえる課題の概要を理解したうえで，身近な地域の人口動向や防災面での課題，東京圏への一極集中といった主題に興味関心をもち，人口動向が地域に与える影響や一極集中にともなう課題の解決策などを積極的に追究しながら，「持続可能な地域社会のあり方」や「地域における防災」を探究するための意欲を高めている。			
	第１編３章５政党政治 第１編３章６選挙制度	○政党とは何か。戦後日本の政党政治はどう変遷してきたのか。政党政治にはどのような課題があるのだろうか。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ○日本の選挙制度の特徴とは何か。選挙制度の課題にはどのようなものがあるのだろうか。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。	a:政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。教科書の時事コラムなどを利用して，日本の政党政治の現状について理解している。日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴，議員定数の不均衡などの課題について理解している。教科書の資料を通じて，選挙制度の特色を読み取ることができている。選挙制度の課題，政治活動に関する規制の現状について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:日本の政党政治の課題について，「政治資金」や「政党間の競争」といった観点に立ちながら考え，適切に表現している。より公正な選挙制度のあり方について，「多様な民意の反映」や「政治の安定」といった観点に立ちながら多面的に考察し，適切に表現している。 c:政党の変遷について主体的に追究して，なぜ離合集散が繰り返されるのかといった観点から政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。選挙制度について関心を深めており，デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第1編3章7世論と政治参加	○世論を政治に反映させるために何が必要か。メディアの責任とは何か。市民としてできることは何だろうか。 ・マス･メディアや市民運動の意義について理解する。	a:マスメディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解している。教科書を通じて，インターネットによる世論形成の課題について理解している。民意を国政に反映させる多様な方法について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:SNS やインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し，適切に表現している。政治への参加について，教科書の問いを利用して協働的に考察し，適切に表現している。 c:政治と民意の関係について主体的に追究し，民意を政治に反映させるための課題を意欲的に解決しようとしている。政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
2学期	第2編1章1経済活動の意義 第2編1章2経済社会の変容	○経済活動とはどのように営まれているのだろうか。限りある資金や資源はどのように選択され，配分されていくのだろうか。 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 ○資本主義と社会主義はどのように変容しているのか。市場規模の広がりをみせる市場経済の展望と課題は何か。 ・政府の規模を念頭にして，経済的な課題への対応を考える。	a:生産分配消費，希少性，トレードオフ，機会費用など，経済の根本的な概念について理解している。資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。教科書の問いを活用し，効率性と公平性について理解している。 b:資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。大きな政府と小さな政府の考え方について，資料を利用しながら協働的に考察構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究し	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			て,学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。			
	第2編1章3経済主体と市場の働き	○3 つの経済主体間の経済循環はどのようなものか。市場の効率性と，その限界はどのような点にあるのだろうか。 ・経済主体を理解する。 ・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。 ・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。	a:需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している。希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や，寡占や独占，外部不経済，情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。情報の非対称性によって生じる問題の具体例について，信頼性の高い情報源から収集し,適切に整理することができている。 b:市場経済における生産要素の効率的な配分や,政府の適切な施策について多面的多角的に考察構想したりしたことを，論拠をもって表現している。情報の非対称性によって生じる問題とその対応策について，２つの視点（情報をもつ側ともたない側）を踏まえながら協働的に考察構想し,適切に表現している。 c:市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して,学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第2編1章4企業の役割	○株式会社のしくみにはどのようなものがあるのか。企業がになうべき社会的責任とは何だろうか。 ・企業の役割と社会的責任について考える。	a:有限責任と無限責任の考え方について理解している。株式会社の仕組みについて，教科書の図を利用しながら,株主と経営者との関係を理解している。教科書の問いを利用して，株式売買に関する考え方を理解している。教科書の本文を踏まえながら,自身が興味関心をもっている会社情報を信頼性の高い情報源から収集し,適切に整理することができている。 b:企業が従業員をはじめ,消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか，協働的に考察構想し，適切に表現している。 c:企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して,企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。社	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			会の課題を解決する会社をどのように起業していくか,主体的に考察しようとしている。			
	第２編１章５国民所得 第２編１章６経済成長と国民の福祉	○経済活動の大きさをはかる指標には何があるのか。それぞれの指標は，どう関係しているのだろうか。 ・NI から三面等価の原則について考える。 ○経済成長や景気変動の要因とは何か。経済活動の見方であるフローとストックの違いとは何だろうか。 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。	a:NI の生産分配支出のそれぞれの内容とともに，3 つが理論的に同額になることを理解している。現在においては，GDP などの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標,社会的側面からの指標などがあることを理解している。 b:景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や,政府による景気安定化政策について多面的多角的に考察し構想したりしたことを,論拠をもって表現している。 c:経済成長による経済的な豊かさと幸福について,数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から,主体的に考えを導きだそうとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第２編１章７金融の役割 第２編１章８日本銀行の役割	○経済活動における資金の流れとはどのようなものか。直接金融と間接金融の違いは何だろうか。 ・金融を通した経済活動の活性化について考える。 ○日本銀行が実施する金融政策の目的は何か。どのような方法で通貨供給量を調整しているのだろうか。 ・中央銀行の役割について理解する。	a:金融は，信用創造等により，家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ,生産性を高め,社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。 b:景気のそれぞれの局面に対処するため,日本銀行がどのような政策をとっているか,企業との関係も含めて多面的多角的に考察,構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:金融技術の革新について主体的に追究して,それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。金融商品についての関心を高めており,リスクとリターンの関係などをよく理解したうえで,無理のない資金運用を心がけようとするなど,学習したことを社会生活に生かそうとし	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			ている。			
	第2編1章9財政の役割と租税 第2編1章10日本の財政の課題	○経済活動における財政の役割は何か。歳入の柱である租税は，どのようなしくみになっているのだろうか。 ・財政の持つ様々な役割について考える。 ・納税者としての立場から租税のあり方について考える。 ○税制改革とは何か。財政の硬直化が生じる原因とは何か。財政構造改革とはどのような改革なのだろうか。 ・日本の財政の現状を理解し，これからの財政のあり方を考える。	a:財政に求められる機能について理解している。教科書の図を利用して，一般会計の歳入歳出がどのように推移してきたかを適切に読み取ることができている。累進課税制度について，計算方法も踏まえながら理解している。日本の財政の現状と課題について，教科書の本文やの時事コラムなどの内容理解や複数資料の読み取りを通じて理解している。主要な直接税と間接税について，各税を増税した場合のメリットとデメリットを信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:一般会計の歳入歳出について，一部項目が大きく増加した背景を考察し，適切に表現している。プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について，多面的多角的に考察し，論拠をもって表現している。 c:公平な税負担について，主体的に考えを導きだそうとしている。 日本の財政の現状と課題を理解したうえで，財政再建について興味関心をもち，歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら，「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第2編2章1日本経済の成長と課題	○日本経済は戦後復興をどのようにはたしたのか。1990 年代以降の長期不況に対し，どのような対策がとられたのだろうか。 ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を，統計資料を基に考える。 ・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。	a:戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。高度経済成長期，安定成長期，現在の成長率について，教科書の図から傾向を適切に読み取り，把握している。教科書の図から「失われた 10 年」の実態を適切に読み取り，理解している。現在の日本の産業構造やGDPに占める各産業の割合，産業別の労働生産性などを信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:2000 年代以降，景気が拡大しても	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			経済成長率が伸び悩んでいる理由について，多面的多角的に考察している。 人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで,そのための経済政策を選択判断し,表現している。今後の日本経済のあり方について,収集した諸情報にもとづいたうえで，「効率性」と「公平性」といった観点も踏まえながら多面的多角的に考察し，表現している。 c:教科書の時事コラムなどを踏まえつつ,今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して,よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。			
	第２編２章２中小企業と農業	○日本の中小企業の現状と課題は何か。国際化の影響を受ける農業には，どのような農政が必要なのだろうか。 ・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。 ・社会とのかかわりに着目して，これからの中小企業の姿を考える。 ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。	a:教科書の図などから情報を適切に読み取り,中小企業と大企業の違いを理解している。中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。後継者不足のために黒字経営であっても廃業を選ぶ中小企業がある状況を知り,事業承継が課題となっていることを理解している。ベンチャー企業や社会的企業のように,大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解している。中小企業を支援すべき理由について,教科書の内容や信頼性の高い情報源から収集した内容などを手掛かりとしながら,適切に整理することができている。 教科書本文と図から,農家数の推移や農家の構成などを適切に読み取り,日本の農業における担い手の問題を理解している。農業基本法や食料農業農村基本法,食糧管理制度や新食糧法などの農業政策の流れについて理解している。食料安全保障の観点から，日本の食料自給率と貿易の関係について理解している。農業法人による大規模化や 6 次産業の進展，スマート農業の振興など,日本の農業の新しい流	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			れについて理解している。 b:日本経済における中小企業の構造的な課題について,大企業との関係や国際化の観点から多面的多角的に考察している。日本経済の基盤ともいえる中小企業が,自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か,協働的に考察し,その結果を適切に表現している。所得補償金などによって小規模農家を保護するべきか,規制緩和で大規模経営を振興するべきか,といった観点で日本の農業について協働的に考察構想や政策判断をし,それらを適切に表現している。持続可能な農業への取り組みと消費者とのかかわりについて多面的多角的に考察し,表現している。 c:食料安全保障について主体的に追究し,自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。6 次産業化や高付加価値農産品,スマート農業の進展など農政の新しい動きに注目し,これらの学習の成果を将来の職業選択などにおいて生かそうとしている。 中小企業をめぐる現状を理解したうえで,ベンチャー企業のあり方について興味関心をもち,「起業」について探究するための意欲を高めている。農業をめぐる現状と課題を理解したうえで,これからの日本の農業について興味関心をもち,「持続可能な農業のあり方」を探究するための意欲を高めている。			
	第2編2章3消費者問題	○さまざまな消費者問題に,行政や消費者自身はどう対応しているのか。消費者の権利と義務とは何だろうか。 ・消費者行政の内容を知り,契約の権利と責任の関係を考える。	a:典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。消費者保護基本法から消費者基本法にいたる消費者行政の内容を知り,求められる消費者像の変遷について理解している。消費者相談の実態について,国民生活センターのウェブサイトから情報を適切に読み取り,それらをまとめることができている。契約の効力が発生する要件や,消費者契約	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			法に定められている契約取り消しの意義などについて理解している。 b:消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し,消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察構想し,それらを適切に表現している。 消費者の権利と責任について,自由と義務の観点から整理し,レポートにまとめるなど適切に表現している。 c:消費者の自立と自己責任について関心を深め,消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。よりよい社会の実現を視野に,消費者問題について学習したことを社会生活に生かそうとしている。			
	第2編2章4公害防止と環境保全	○公害はなぜ発生するのか。公害防止や環境保全のためには，どのような対策が必要なのだろうか。 ・経済成長と公害問題との関係を考える。 ・法制度の整備のほか，私たち消費者の行動について考える。	a:日本における公害の発生と原因を理解している。また，教科書の表などから必要な情報を適切に読み取っている。政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。循環型社会の理念を理解している。また，3R の原則について理解し，その実態を信頼性の高い情報源から収集し,適切に整理することができている。 b:環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択判断し，それらを適切に表現している。循環型社会の実現における課題を見出し,法制度と消費者の観点から協働的に考察構想し,それらを適切に表現している。環境保護に向けた取り組みのあり方について,多面的多角的に考察している。 c:日本の公害問題と環境政策に関する理解のもとで,今後の環境問題の解決方法について主体的に追究して,課題を意欲的に解決しようとしている。よりよい社会の実現を視野に,循環型社会の実現に向けた諸施策など学習したことを,社会生活に生かそうとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第2編2章5労働問題と労働者の権利 第2編2章6こんにちの労働問題	○労働者の権利は，どのようにして確立してきたのか。労働基本権を具体化する労働三法とはどのような法律だろうか。 ・労働法の整備状況や，職場の人権保障について考える。 ○日本の伝統的な雇用形態は，どう変化してきたか。職場における人権の課題にはどのようなものがあるのだろうか。 ・日本的雇用形態の変化や，ワーク・ライフ・バランスについて考える。	a:労働基本権と労働三法の内容について理解している。職場における不当な差別的扱いがあってはならず,そのための法整備と対策が急がれることを理解している。「女性と労働」といった主題について,教科書の資料を活用しながら日本でみられる傾向やその背景を適切に読み取り,まとめることができている。具体的な労働問題について，教科書の資料などを活用し，理解している。日本的雇用形態の特徴を理解しており，また，それらのあり方が崩れてきていることを理解している。日本の労働環境について，教科書本文の内容や信頼性の高い情報源から収集した内容,労働環境に関する各国資料を足掛かりとしながら日本の特徴を適切に読み取り,まとめることができている。 b:なぜ労働法規によって労働者の権利保護が図られているのか協働的に考察し，それらを適切に表現している。どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか,多面的に考察している。非正規雇用の労働者が置かれている厳しい状況について,権利の保障や保護の観点から課題と解消のための政策を協働的に考察構想し，それを適切に表現している。 c:教科書の問いを活用して会社情報や労働条件に対する興味関心を高め,就業に際して自身が重視する観点を主体的に追究しようとしている。日本の労働をめぐる現状と課題を理解したうえで,諸外国の労働環境やこれからの日本の労働環境について興味関心をもち，「日本におけるワークライフバランスの実現」を探究するための意欲を高めている。よりよい社会の実現を視野に,ワーキングプアの解消やワークライフバランスの実現を目指して,学習した内容を社会生活に生かそうとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第2編2章7社会保障の役割と課題	○社会保障制度は，どのように発展してきたのか。日本の社会保障制度のしくみと課題は何だろうか。 ・諸外国の制度との比較も含めて考える。 ・少子高齢化や日本の財政の現状も踏まえながら，今後の課題を理解する。	a:社会保障の考え方を知り，それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。日本の社会保障制度が諸外国との比較でどのようなものであるかを読み取り，また，その概要を理解している。少子高齢化が進行する中で，社会保障が直面している問題について，とくに財政的な課題を教科書の図などから適切に読み取り，理解している。社会保障は高齢者だけのものではなく，社会に参加するすべての世代について検討されるべきものであることを理解している。各国の社会保障のしくみを信頼性の高い情報源から収集し，長所と短所を比較する形で適切に整理することができている。 b:社会保障のあり方について，税金中心のしくみと社会保険中心のしくみでどのような違いがあるか協働的に考察し，それらを適切に表現している。日本の社会保障制度の現状と課題について，多面的多角的な観点（少子高齢化，年金制度，負担と給付のバランス）に立ちながら考察し，適切に表現している。 c:安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して，社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。よりよい社会の実現を視野に，ノーマライゼーションの進展について学習したことを社会生活に生かそうとしている。日本の社会保障をめぐる現状と課題を理解したうえで，諸外国の社会保障制度やこれからの日本の社会保障制度について興味関心をもち，「日本における持続可能な福祉社会の実現」を探究するための意欲を高めている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第3編現代	・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，地域社会の自立と政府，多様な働き方・生き方を可能に	a:各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択判断の手掛かりとなる考え方，政治およ	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	日本における諸課題の探究	する社会，産業構造の変化と起業，歳入・歳出両面での財政健全化，食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現，防災と安全・安心な社会の実現などについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えをつくる。	び経済の基本的な概念や理論など)を整理し，理解している。各課題の解決に向けた考察構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:社会的な見方考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。 c:よりよい社会の実現のために，現代日本の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的多角的な考察構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。			
	第１編１章１国際社会と国際法 第１編１章２国際社会の変化	○国際社会を構成する要素は何か。国際法とは何か。領土問題の発生にはどのような原因があるのだろうか。 ・国内政治や国内法との比較で考える。 ○国際社会における戦争観や人権の考え方はどう変化したか。国際社会におけるＮＧＯの役割とは何だろうか。 ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について考える。	a:主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず，そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解している。主権の及ぶ領域について，教科書の図などから必要な情報を適切に読み取り，主権国家の理解を深めている。教科書の本文を利用して，条約の効力について理解している。領土問題がなぜ生じるのか，また，どのように解決することが望まれているのかを理解している。二度の世界大戦を契機として，国際法に大きな変化が生じたことを理解している。国際司法裁判所や国際刑事裁判所が設立され，NGOをはじめ多様な主体が活動するなど，国際政治に変化が生じていることを理解している。 b:国際政治や国際法はどのようなものなのか，国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど，適切に表現している。領土問題について問いを見出し，平和的に解決する観点から協働的に考察構想し，それらを適切に表現している。世界政府のような超国家的存在を設けた場合の問題点について，主権国家の権利の観点などから協働的に考察構想し，それらを適切に表現	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			している。 c:NGO の取り組みについて主体的に追究し，環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。よりよい社会の実現を視野に，主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを，他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。			
	第１編１章３国際連合と国際協力	○集団安全保障とは何か。国際連合は，国際連盟と比べてどのような点が異なっているのだろうか。 ・主要機関や専門機関の働きから考える。 ・安保理改革などを材料に国際連合の課題を考える。	a:国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。勢力均衡と集団安全保障の違いについて理解している。国際連盟と国際連合の違いについて，教科書の資料などから必要な情報を適切に読み取ることができている。安全保障理事会の機能について理解している。また，安保理改革として求められている内容を理解している。国連が取り組む課題について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:国際連合が抱えている課題について，採決や財政の観点などから協働的に考察し，それらを適切に表現している。安保理改革の必要性について，大国一致の原則や拒否権の行使の観点から協働的に考察構想し，それらを適切に表現している。紛争をなくしていくためのルールや制度について協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会，経済や環境問題に関する行動について主体的に追究し，国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。国際連合のしくみや取り組みを理解したうえで，国際社会における平和の実現について興味関心をもち，「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第１編１章４こ	○冷戦の終結によって，国際社会はどうかわったのか。紛争やテロの背景にはどのようなものがあるのだ	a:冷戦構造の概要について理解している。教科書の図などから，冷戦終結後に民族紛争が多発したことを適切に読み取っている。国家間の戦争が対	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	んにちの国際政治	ろうか。 ・対立構造の変容から，国際社会の力学の変化を考える。 ・大国の動向や，国家対国家の枠組みに収まらない対立構造について考える。	テロ戦争の様相を示しだした経過を理解している。中国やロシアなどの大国が領有権紛争を起こしていることや，中東の民主化運動により地域全体が不安定化していること，米中対立の深化など，今日的な国際政治の課題を理解している。冷戦終結後の「平和に対する脅威」の具体例について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:冷戦終結後に地域民族紛争が多発したことについて，その要因を多面的多角的に考察している。冷戦後の「平和に対する脅威」をとりのぞくために何が必要か，といった観点で協働的に考察構想し，それらを適切に表現している。 c:国際社会における法の支配について主体的に追究し，各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。			
	第１編１章５人種・民族問題	○人種・民族問題はなぜ生じるのだろうか。問題解決のためには，国際社会でどのような取り組みが必要なのだろうか。 ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考える。	a:人種問題について，具体例（公民権運動，アパルトヘイト）を踏まえながら理解している。民族問題について，教科書の時事コラムなどを利用して，問題の所在や解決に向けた働きかけの推移について理解している。教科書のトピックを利用して，アフリカの政治的な課題について理解している。教科書の時事コラムなどから情報を適切に読み取り，難民をめぐる動向や基礎的な統計情報を理解している。多民族国家としてマイノリティを抑圧しないために，多文化主義に立つことが重要であることを理解している。 b:紛争の背景を踏まえながら，その防止策や解決に向けた国際社会の取り組みについて協働的に考察構想し，適切に表現している。難民や国内避難民について，どのような援助が必要とされているのかを協働的に考察構想し，それらを適切に表現している。多文化主義を取り入れていくことに関する課題を見出し，その解消に向けて協働	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			的に考察構想し，それらを適切に表現している。異なる民族の共存やそれを実現するための政策について考察し，適切に表現している。 c:難民や国内避難民について主体的に追究し，いかにしてその支援等に寄与することができるかなど，意欲的に解決しようとしている。よりよい社会の実現を視野に，多文化主義について学習したことを，日常生活における他者との関係において生かそうとしている。人種民族問題や紛争の背景や影響を理解したうえで，国際社会における難民の現状や平和の実現について興味関心をもち，「日本における難民問題」や「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。			
	第１編１章６軍拡競争から軍縮へ	○核抑止論とは何か。軍縮はどのように進んできたのか。核廃絶の動きにはどのようなものがあるのだろうか。 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを確認する。 ・核兵器禁止条約の採択に向けた動きを参考にして考える。	a:核抑止論の考え方について理解している。また，安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造について理解している。核廃絶に向けた運動が盛り上がるなか，数々の軍縮条約が締結されていった経過について理解している。NPT に参加しない国があることや，CTBT の発効の見通しが立たない状況など，核廃絶に向けて課題が残されていることを理解している。核兵器禁止条約の歴史的意義について理解するとともに，核保有国や日本が参加していない理由や課題についても理解している。 b:安全保障のジレンマを乗り越えて軍縮を進めていくためには何が必要となされるか，協働的に考察構想し，それらを適切に表現している。核保有国を増やさないためにはどのようなことが必要か，多面的多角的に考察している。 c:核兵器禁止条約について主体的に追究し，賛成を表明した国と反対した国の主張を比較して，さらに多くの国が参加するためには何が必要なのか，意欲的に検討し解決しようとしている。よりよい社会の実現を視野に，軍	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			縮における合意形成の過程を参考にして,他者との意見調整などに生かそうとしている。			
	第1編1章7日本の外交と国際社会での役割	○戦後日本の外交はどう展開されてきたか。日本は国際社会でどのような役割を求められているのだろうか。 ・とくにアジア諸地域の信頼回復の経緯を確認する。 ・人間の安全保障の観点から考える。	a:戦後の主権回復と国際社会への復帰について，その経過を理解している。アジア諸国との国交正常化が進められる一方,賠償のあり方をめぐって裁判が繰り返されるなど,根本的な解決には至っていない現状を理解している。北朝鮮による拉致被害と人権侵害について,国際連合も日本を支持する決議を出しているなど,解決が望まれていることを理解している。教科書の図などから情報を読み取り,日本が北方領土と竹島において領土問題を抱えていることを理解している。ODA や PKO などの国際貢献活動について，広く理解している。 b:日本の領土問題について，平和的な解決のために必要なことを多面的に考察している。国際の平和と安全のために,国連機構や加盟国がはたすべき役割(とくに日本が今後の国際社会で果たすべき役割)について協働的に考察構想し,それらを適切に表現している。 c:国際貢献について主体的に追究し,政府レベルや企業レベル,市民レベルの観点から,課題を意欲的に解決しようとしている。国際社会で日本が果たすべき役割について考察を深めるなかで,国際社会における平和の実現について興味関心をもち,「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート
	第2編1章1貿易と国	○自由貿易や保護貿易の考え方が主張された背景は何か。国際収支は，どのように分類できるのだろうか。 ・比較生産費説を検討して考える。 ・貿易収支の数値から一国	a:自由貿易のメリットを,比較生産費説をもとに理解している。国際分業の利益について,多国籍企業の展開と合わせて理解している。保護貿易が提唱される理由を理解している。また，近年では先進国においても保護貿易的な動きがみられることを理解してい	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	際収支 第2編1章2外国為替市場のしくみ	の貿易の動向を確認する。 〇外国為替とはどのようなしくみか。為替レートの変動が経済にもたらす影響にはどのようなものがあるだろうか。 ・外国為替市場における需要と供給の関係を確認する。 ・具体的な事例を基にして為替相場の動向が経済に与える影響を考える。	る。国際収支の考え方を理解している。また。教科書を踏まえて，各時代における貿易のあり方にどのような特徴があったかを読み取ることができている。教科書の図などから必要な情報を読み取り，外国為替のしくみについて理解を深めている。円高や円安が日本経済に与える影響について，輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解している。 b:自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか，協働的に考察し，それを表現している。日本経済にとって，円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて，協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:自由貿易を推進するメリットと，近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し，望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。円高や円安が輸出輸入価格に影響することを踏まえて，円相場の変動にあわせて輸入品や外国株式の購入時期を検討しようとするなど，社会生活に生かそうとしている。			
	第2編2章1第二次世界大戦後の国際経済	〇戦後のＩＭＦ体制は，どのように変遷したか。貿易自由化をめざすＷＴＯがかかえる課題は何だろうか。 ・本文や図版資料を基に，歴史的な経過を確認する。 ・ドーハラウンドにおける先進国と途上国の対立や，二国間交渉への傾倒などから課題を考える。	a:IMF と GATT に代表される国際経済体制について，その概要を理解している。固定為替相場制から変動為替相場制へと移行した歴史的な経過について理解している。GATT，WTO における多角的交渉が目指したものについて理解している。 b:ドーハラウンドにおける協議がなぜ停滞しているのか，多面的に考察している。公正な国際貿易体制とはどのようなものか，協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:WTO が国際経済体制に果たす役割について主体的に追究し，ドーハラウンドが抱えている課題を意欲的に解決しようとしている。公正な国際貿易体制のあり方について主体的に追究	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

			し，各国が従うべき貿易のルール作りに関する課題を意欲的に解決しようとしている。			
	第２編２章２国際経済の動向 第２編２章３新興国の台頭	○経済統合はどのように進展していくのだろうか。各地域で進んでいる貿易協定にはどのようなものがあるのだろうか。 ・各地域の状況を確認する。 ・多角主義の原則から二国間協定への流れ，さらにメガ FTA の挑戦といった過程を確認する。 ○急成長をとげる新興国の現状と課題は何か。こうした新興国の動向は，国際経済にどのような影響を及ぼしているのだろうか。 ・中国とインドについて，その現状と課題を理解する。	a:FTA や EPA がどのようなものであるのかを理解している。EU を例として，どのように統合が深化していったかを理解している。各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。また，教科書の図などから情報を読み取り，各地域的経済統合についての理解を深めている。世界経済が密接に関連しあい，グローバルバリューチェーンを形成していることを理解している。新興国の中でも，とくに中国とインドが世界的な影響力を強めていることを理解している。急速な経済成長を進める中国とインドが，国内において多様な課題をかかえていることを理解している。資料を通じて，アメリカと中国の経済状況の違いを適切に読み取っている。中国やインドが"国際経済のなかで"直面している課題について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:EU の統合について課題を見出し，各国の経済的格差の課題などについて協働的に考察し，適切に表現している。TPP11 が日本経済にもたらす影響について，多面的に考察している。地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて，自由と公正の観点から協働的に考察し，適切に表現している。 c:EU の統合について主体的に追究し，そのなかで生じたイギリスの離脱に見られるように経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。TPP11 や RCEP について主体的に追究し，今後の日本が各国との貿易においてどのように主導的な役割を果たしていくべきか，意欲的に検討しようとしている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第2編2章4経済のグローバル化とICTでかわる世界経済	○グローバル化の進展は，経済や社会にどのような影響を及ぼしたのだろうか。どのような課題が生じているのだろうか。 ・ヒト・モノ・カネが自由に移動した結果，世界はこれまで以上に緊密化したことを確認する。 ・金融危機などの影響もグローバル化し，富の偏在も世界規模に拡大したことを確認する。	a:グローバル化した世界において，多国籍企業の存在が大きくなっていることを理解している。グローバル化によって人の往来が活発になり，そのなかで共生が課題となっていることを理解している。金融のグローバル化の結果，資本の国際取引が活発になったが，その一方で投機的資金の移動が実体経済を脅かすこともあることを理解している。グローバルな労働者移動の現状と課題，ICTやAI技術が国際社会に影響を及ぼしている事例について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:共生の課題について，経済移民を労働力ではなく「生活人」として擁護するためにはどうすればよいか，協働的に考察構想し，それらを適切に表現している。国際的な資本取引に対する金融規制をどう考えるかについて協働的に考察し，適切に表現している。グローバリゼーションがもたらすメリットとデメリットにはどのようなものがあるか，多面的に考察している。ICTやAI技術の普及にともなうメリットとデメリットについて協働的に考察し，適切に表現している。 c:国際的な資本取引に対する金融規制について主体的に追究し，OECDにおける議論などを参考にしながら意欲的に解決しようとしている。よりよい社会の実現を視野に，グローバリゼーションと共生の課題について学習したことを，自らの生活圏内に生きる外国人労働者に対するまなざしの中で生かそうとしている。「グローバル化の進展と労働力移動」や「ICTやAI技術」に関する理解を深めるなかで，それぞれの進展によって生じうる課題について興味関心をもち，「外国人労働者との共生のあり方」や「自動運転技術のあり方」を探究するための意欲を高めている。	考査	考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	第2編2章5発展途上国の課題と展望	○南北問題の解決に向け，発展途上国はどのように対応してきたのか。南南問題とはどのようなものだろうか。 ・資源ナショナリズムや新国際経済秩序樹立に関する宣言などを通して考える。 ・途上国間の経済格差について理解する。	a:南北問題について，その背景と現状について理解している。資源産出国が自国の権益を保護しようとした歴史的な経過について理解している。発展途上国の中でも，高い成長を記録した国がある一方，絶対的な貧困に悩む国がある現状を理解している。 b:モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的多角的に考察し，表現している。途上国の貧困削減の取り組みの進め方について多面的に考察し，適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に貧困を解消するための具体的な行動について積極的に考察し，社会生活に生かそうとしている。世界の貧困状況やそれを解消するための取り組みについて興味関心をもち，「国際経済格差の是正」を探究するための意欲を高めている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	第2編2章6地球環境問題，資源エネルギー問題	○化石燃料はなぜ大量消費されるのか。大量消費にともなう課題の解決に向け，どのような取り組みが進んでいるのだろうか。 ・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解する。 ・地球温暖化問題をめぐる現状と課題について理解する。	a:化石燃料と再生可能エネルギーの特徴について，それぞれ理解している。教科書の図などから，世界の一次エネルギー消費量について，その推移と現状を読み取ることができている。パリ協定や SDGs の目標をめぐる現状と課題について理解している。パリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:調べて整理したパリ協定にもとづく各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら，日本がその目標を達成実現するための手段について協働的に考察し，適切に表現している。 c:地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで，脱炭素社会の形成について興味関心をもち，「地球環境問題，資源エネルギー問題」を探究するための意欲を高めている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	第2編2章7経済協力と日本の役割	○貧困や飢餓の問題に対して，先進国や国連はどう対応しているか。日本のＯＤＡの現状と課題は何だろうか。 ・援助と開発の過程について確認する。	a:先進国による援助の中心としてODAがおこなわれてきたことを理解している。教科書の図などから情報を読み取り，先進国のODA実績の動向について理解を深めている。アフリカ経済の現状や日本のアフリカに対する経済協力のあり方，JICAによる具体的な活動事例などについて，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 b:日本のODAの特徴と課題はどのようなものか，資金の用途や貸与方式などの観点から協働的に考察し，適切に表現している。これからの日本のODAのあり方について，教科書の問いを利用して多面的多角的に考察し，適切に表現している。アフリカをめぐる動向について調べたうえで，望ましい国際協力のあり方について協働的に考察構想し，それらを適切に表現している。 c:国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究し，JICAによる支援活動などについても興味を持ち，それらの課題を意欲的に解決しようとしている。途上国をめぐる国際協力の現状について理解したうえで，国際社会における開発と援助の現状や平和の実現について興味関心をもち，「国際経済格差の是正」や「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	第3編国際社会における諸課	・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際経済格差の是正と国際協力，イノベーションと成長市場，人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組，持続可能な国際社会づくりなどについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角	a:各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方，国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し，理解している。各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取る技能を身に付けている。 b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	題の探究	的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えをつくる。	形成に向けた自身の考えを説明,論述している。 c:よりよい社会の実現のために，国際社会の諸課題を主体的に追究し,他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度